

一般質問（平成28年9月議会）

第3回 定例会

質問事項及び答弁の概略

質問議員 前田 正志 議員

質 問 事 項 等
<p>◎市民参加と公共施設について</p> <p>○学区の見直しについて</p> <p>※市内の小中学校の学区の見直しについての考えを伺う。</p> <p>（教育長）</p> <p>今後の学区の見直しにつきましては、本年10月に学校再編計画審議会を設置し、市全体の学校再編に取り組んでまいりますので、学校再編とあわせて学区の見直しを検討してまいりたいと考えております。</p>
<p>【再質問⑤】</p> <p>○学区の見直しについて</p> <p>※学校再編は、福祉や地域コミュニティの観点から、教育分野だけではない多面的な検討が必要と考えるが、当局の認識を伺う。</p> <p>（教育部長）</p> <p>多面的な検討が必要と考えておりますので、学識経験者、自治会関係者、教育関係者、福祉関係者などで構成される「学校再編計画審議会」の中で、様々な角度から検討してまいり予定となっております。</p>
<p>【再質問⑥】</p> <p>※学校再編計画審議会の今後のスケジュールなどを伺う。</p> <p>（教育部長）</p> <p>学校再編計画審議会では、学校の適正配置や統廃合に関する基本的な考え方を整理した基本計画を、出来るだけ来年3月頃まで策定していきたいと、その後、具体的な個別の学校をどうするかという実施計画を策定する予定としております。</p>
<p>【再質問⑦】</p> <p>※小中学校の統廃合を行う場合、廃校ではなく、休校としておくと再開しやすいとのことだが、当局の認識を伺う。</p> <p>（教育部長）</p> <p>いろいろな事例があると思いますので、他の自治体の状況の把握に努めながら、審議会の中で検討してまいりたいと考えております。</p>

一般質問（平成28年12月議会）

第4回 定例会

質問事項及び答弁の概略

質問議員 小久保 ともこ 議員

質 問 事 項 等

【再質問】

◎茂原市公共施設等総合管理計画について

○今後の取り組みについて

※学校再編計画審議会において統廃合の検討が進められているが、審議会の内容と現時点における課題について伺う。

（教育部長）

学校再編計画審議会では、児童生徒たちのより良い教育環境を確保するため、学校再編に対する基本的な考え方について、全市的な視点に立って検討を進めているところです。10月から現在まで2回の審議会を開きまして、来年3月を目途に実際に統廃合を進めるうえでの基本的な考え方を整備した基本計画を策定する予定となっております。

課題につきましては、少子化により児童生徒数が減少し、子どもたちが成長していくうえでの環境や、様々な学習活動等に支障が生じている状況、及び学校再編の必要性などについて、市民の皆様のご理解を得るために十分な周知を図っていくことであると考えております。

一般質問（平成28年12月議会）

第4回 定例会

質問事項及び答弁の概略

質問議員 常泉 健一 議員

質 問 事 項 等

◎茂原市学校再編計画について

○再編計画策定の経緯について

※茂原市学校再編計画の策定にあたり、教育部所管だけで検討したのか、それとも他の所管と協議したのか伺う。

（教育長）

学校の少子化の現状を把握し、その対策として基本計画を策定し方針を定めることは教育委員会の責務だと考えておりますので、学校再編につきましては、教育部所管で検討を進めてまいります。

なお、計画策定にあたりましては、様々な観点からの意見を取り入れるため、有識者等による学校再編計画審議会において審議を進めるとともに、関係課とも協議をしております。

【再質問①】

※教育委員会独自で検討したことは、縦割り行政の弊害だと思われるが、どうして教育委員会独自で行ったのか伺う。

（教育部長）

学校再編は、子どもたちにとってより良い教育環境の確保を第一に考える必要がありますので、少子化の現状を把握し、その対策として基本計画を策定し方針を定めることは教育委員会の責務だと考えております。

しかしながら、学校再編は、市にとりまして大変大きな問題でございますので、平成27年度から本市の重要事項に位置づけ、全庁的な周知を図りながら進めてきたところでございます。

今後も関係各課と協議しながら進めてまいりたいと考えております。

一般質問（平成28年12月議会）

第4回 定例会

質問事項及び答弁の概略

質問議員 常泉 健一 議員

質 問 事 項 等

【再質問②】

※再編計画の策定の目的の中に「適正規模」とあるが、その要件はどのようなものであるか伺う。

（教育部長）

文部科学省では、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましいとして、学校教育法施行規則第41条、第79条において小中学校とも学級数は「12学級以上18学級以下を標準」としております。

茂原市では、教育環境の確保に加え、本市の実情等を考慮し、中学校の適正規模につきましては「9学級以上18学級以下」にしたところでございます。

【再質問③】

※現時点で「適正規模」に満たない、再編の対象となる学校名を伺う。

（教育部長）

平成28年5月1日現在で適正規模を満たしていない学校につきましては、小学校は豊田小学校、二宮小学校、西小学校、鶴枝小学校、本納小学校、新治小学校、豊岡小学校、緑ヶ丘小学校で、14校中8校が満たしていない状態でございます。

また、中学校につきましては本納中学校、早野中学校、西陵中学校で、7校中3校となっております。

なお、学校再編につきましては、再編計画審議会におきまして、現在、基本的な考え方を整理しているところでございます。対象となる学校を未だ特定している訳ではございません。

質問議員 常泉 健一 議員

質 問 事 項 等

【再質問④】

※重要な施策・事業が進展する状況にある中で、学校再編にあたっては、にいほる工業団地の所管である商工観光課、本納ニュータウン宅地開発事業の所管である都市計画課、また人口減少問題対策を含め本市の基本的な構想・計画を総括する企画政策課が政策協議の先頭に立って検討すべきと思うが、なぜ市として総合的な協議がなされないのか伺う。

（教育部長）

先ほど申し上げましたが、現在、再編計画策定審議会において検討しているところでございまして、対象となる学校の特定には未だ至っていない状況でございます。

なお、計画の策定にあたりましては、将来にわたって適正な規模の児童生徒数を維持し、子ども達にとって、より良い教育環境を確保することを第一に検討してまいります。

学校の少子化の現状を把握し、その対策として基本計画を策定し方針を定めるということは、教育委員会の責務だと考えておりますが、今後、協議が必要な部分につきましては関係課と協議を進めてまいります。

また、今は基本的な考え方を整理する基本計画を策定しているところですので、今後具体的な統廃合について定める実施計画を策定してまいります。その策定にあたりましては、市長部局と十分な協議をした上で策定してまいりたいと考えております。

一般質問（平成28年12月議会）

第4回 定例会

質問事項及び答弁の概略

質問議員 常泉 健一 議員

質 問 事 項 等

【再質問⑤】

※先般、12名の委員による「学校再編計画審議会」が開催されているが、策定までの期間が拙速ではないかと思うがその点の考え方を伺う。また、委員の選考基準、地区名を伺う。

（教育部長）

茂原市では、昭和60年頃をピークに児童生徒数の減少が進み、今年度当初ではピーク時の約半分に減少するなど、小中学校が小規模化してまいりました。小規模化に伴い、子ども達にとってより良い教育環境の確保が困難になっており、部活動や学級編成、学校行事などにも影響が生じているところでございます。

文部科学省では、学校の小規模化に伴い、学校規模の適正化が全国的な課題となったことから、平成27年1月に「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を策定いたしました。茂原市教育委員会では、国の手引きの策定を受けまして、平成27年3月に小中学校の適正規模を定め、再編について検討を進めてきたところでございます。

今回の委員の選考につきましては、本市の教育行政に対し全市的な視点から意見を伺うため、元教育委員に依頼したほか、茂原市自治会長連合会、茂原市小中学校長会、千葉県教職員組合長生支部、茂原市PTA連合会、青少年育成茂原市民会議、茂原市青少年相談員連絡協議会、茂原青年会議所、茂原市民生委員児童委員協議会からそれぞれ推薦をいただき、12名を委嘱したところでございます。

また、委員の選出について、地区の割り振りは考慮しておりません。推薦の結果、茂原地区が4名、東郷地区が2名、豊田地区が1名、二宮地区が1名、五郷地区が1名、鶴枝地区が2名、市外にお住まいで本市の団体役員となっている方が1名となっております。

質問議員 常泉 健一 議員

質 問 事 項 等

【再質問⑥】

※再編対象の地元委員を選出しなかった理由を伺う。

（教育部長）

学校再編についての議論は、市内全域を対象に行っておりまして、現時点で再編対象の地区という認識はもっておりません。

また、委員の地区に関しましては、各団体から推薦をいただいた結果としてこのようになったものですので、ご理解をいただきたいと思います。

それから先ほど申しあげました統廃合の具体案を定める実施計画の策定にあたっては、地域の方々の意見を聴きながら進めてまいりたいと考えております。

【再質問⑦】

※小学校の通学距離基準は4キロメートル以内と聞いているが、4キロメートルを児童が歩くと、どのくらいの時間がかかるか伺う。また、4キロメートル以上歩く児童にバスの運行等、子ども達の安全を確保するための手立ての考えがあるのか伺う。

（教育部長）

児童が4キロメートル歩くのに要する時間といたしましては、概ね1時間から1時間20分程度と推測しております。

また、遠距離通学となる児童に対しては、スクールバスの運行も検討しなければならないと認識しております。

【再質問⑧】

※仮に統廃合しなかった場合のデメリットについて伺う。

（教育部長）

今、常泉議員がおっしゃっていただきました学校行事に対して地域の方々が大勢参加をし、協力をしていただいていることは本当に有り難いことだと思っております。

学校の小規模化によるデメリットとしましては、集団の中で同年代のいろいろな考えに触れることができないということで、切磋琢磨できる機会が少なくなりやすいこと、学校行事や部活動等に制約が生じやすいこと、グループ学習や習熟度別学習などの多様な学習・指導形態を取りにくいこと、クラス替えが困難なため人間関係が固定化しやすいこと等が考えられるところでございます。

質問議員 常泉 健一 議員

質 問 事 項 等

【再質問⑨】

※デメリットについては、教諭はプロであり克服できる、創意工夫でスポーツ事業もできるという教育関係者からの言葉をいただいた。また、文部科学省の手引によると、学校規模の適正化に関する基本的な考え方として、教育的な観点と同時に地域コミュニティの核としての性格の配慮が示されている。一概に言い切れないと思うが、教育者として経験豊富な教育長にこの点についての考えを伺う。

（教育長）

常泉議員のお話をお伺いして、新治小学校の明治開校以来の歴史、それから地域の核としての学校を大切にしてきた地域住民の方々の思い、さらには地域を愛し、地域の発展を願う常泉議員の情熱、熱意をひしひしと感ずることができました。

また、運動会の様子をお伺いして、正に学校の地域のコミュニティの核としての役割を確認させていただくとともに、学校と一体となって運動会を盛り上げて、子ども達のために運動会を成功させた地域の方々、その中心におそらく常泉議員がおられたのだと思いますけれども、そういった地域の方々のご尽力に敬意を本当に表するとともに、小さい学校なりの教育に、そのメリットを活かした工夫を積み重ねてきた学校の先生方にも感謝の思いです。

そこで、これから私が申し上げることですが、このように教員は、先ほど常泉議員がおっしゃったように教員はプロですので、学校規模が小さければ小さいなりに、また大きければ大きいなりにメリットを活かしてデメリットを解消するよう、本当に目の前の子ども達に全力を投じて努力するのが教員であります。

しかし、規模にも限界というものがあると思います。地域の特性がありますから、必ずしも適正規模で一律に切るというものではないのですけれども、余りにも小さくなり過ぎたり、余りにも大きくなり過ぎたときには、やはり教員の創意工夫だけでは標準的な学校と同じようなことができなくなってしまうのではないのかなと考えております。

今から私が申し上げることですけれども、教育委員会が学校再編の計画立案を諮問した再編計画審議会では、先ほどから答弁で申し上げているとおり、まだ、再編の基本的な考え方を審議している段階であって、新治小学校などの特定の学校を対象にしてはおりませんので、教育委員会として特定の学校の統廃合云々することはまだできない訳でございます。

したがって、これから申し上げることは一般論になる訳ですが、今回の再編は一地域に限ったことではなく、茂原市内のいくつかの地域にかかわることになると思いますので、全地域の皆様方にお聞きいただきたいのですけれども、学校の統廃合の問題となるとどうしても今ここで論議されているように地域の核としての役割と子ども

質問議員 常泉 健一 議員

質 問 事 項 等

の教育という点、さらに言えば「おらが地域の学校を何としても残したい」という思いと「子どもをもっと大勢の子どもと触れ合う中で勉強させたい」という思いがどうしても対立してしまうことになる訳です。この2つを天秤にかけるのは非常に難しいことです。片方の思いが通れば、もう一方はならぬということになってしまいがちだからです。

私が実際にかつて勤めた長柄町立昭栄中学校は、今は長柄中学校と合併してなくなってしまっておりますが、勤めていた当時はやはりその点が長柄町中の一大争点でした。

また、5年前に同じく長柄町で日吉小学校に統合した水上小学校、来年度長南小学校1校に統合する長南町の4つの小学校、また、再来年度土睦小学校と一緒にすることが決定している睦沢町の瑞沢小学校、いずれの地域でもその点が一番大きな課題であったと聞いています。

しかし、話し合いの中で、そこを何とか乗り越えて、その地域なりの答えが出されています。本市でも、統廃合を進めていく上では、地域の方々の声を聴きながら、良い方向へと向かいたいと考えております。その際、教育委員会としては、子どもにとってより良い教育環境を整えてあげることが第一とする立場であるということをご理解いただき、ご協力いただきたいと思います。

また、私としましても先ほど常泉議員がおっしゃったように、一人一人の子どもの将来を考えてあげることが、地域の発展を考えることと相反することではないと考えております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

【再質問⑩】

※地域活動を進める中では、一定のまとまりが必要であり、多くが小学校区程度である。地域の実情に応じた茂原市独自策を用いて解決をすべきだと思う。その観点からすると、整合性が取れていないと思うが、教育は別枠として考えているのか見解を伺う。

（教育部長）

教育委員会といたしましては、児童生徒数が実際に減少して様々な影響が生じているという中で、今教育長も申しましたように、子ども達にとって、どういった環境が一番好ましいのかといったことを第一に考えながら再編計画の策定を進めてまいります。

具体的な統廃合について定めます実施計画の策定にあたりましては、先ほども申し上げましたが、地域の方のご意見を伺うとともに、庁内で十分な協議を行ってまいりたいと考えております。

質問議員 杉浦 康一 議員

質 問 事 項 等

◎学校再編について

○小中学校再編計画（案）について

※本市が定めた小中学校の適正規模の根拠を伺う。

（教育長）

学校教育法施行規則第41条、第79条では、小中学校とも「学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。」と適正規模を定めています。

文部科学省では、少子化による小中学校の小規模化が進み、学校規模の適正化が全国的な課題となっていることから、平成27年1月に「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を策定いたしました。これを受け、平成27年3月の教育委員会会議で「小学校は、12学級以上18学級以下」、「中学校は、9学級以上18学級以下」と適正規模を定めました。

適正規模の理由につきましては、小中学校ともに全ての学年においてクラス替えが可能であること、学習活動の特質に応じて学級を超えた集団の編成ができることなどの理由から1学年2学級以上といたしました。

また、このことに加えて中学校では、教員の免許外指導をなくし、全ての授業で教科担任による学習指導を行うため1学年3学級以上といたしました。

【再質問①】

※先に策定された公立保育所・幼稚園整備計画では北部地域は、今後、保育所・幼稚園を統廃合して、認定こども園に集約することとされているが、この北部地域の小中学校の再編については、どのように考えているのか伺う。

（教育部長）

現在、学校再編計画審議会において、再編に向けての基本的な考え方を整理しているところでございます。今後、北部地域においても大幅な児童生徒数の減少が見込まれておりますが、基本的な方針、これにつきましては市全体にかかるものですが、3月末を目途に決定していく予定となっております。

その後、北部地域も含めた全体の学校を実際にどういうふうに統廃合していくのかという実施計画を定めていく予定となっております。

質問議員 杉浦 康一 議員

質 問 事 項 等

【再質問②】

※仮に統廃合となった場合、通学距離がかなり遠距離となると思うが、小中学校の通学距離の適正基準との関係はどうなるのか伺う。

（教育部長）

通学距離につきましては、小学校で概ね4キロメートル以内、中学校で概ね6キロメートル以内であることが適正とされております。市内小学校では、現在すべての学校で4キロメートル以内となっております。中学校では、本納中の一部の学区が適正基準外に該当しております。

再編の基本的な考え方は、審議会の中で検討していくこととなりますが、再編にあたっては、当然ながら地域性や通学距離にも配慮し、必要に応じてスクールバスの送迎等についても検討してまいりたいと考えております。

【再質問③】

※基本的な考え方というのは何を指すのか伺う。

（教育部長）

基本的な考え方については、全部の地域に共通するような、要するにこういう方針に従って統廃合を進めていきますということを定める予定になっております。

【再質問④】

※市全体として、小中学校をいくつに統合していくのか、どういう所に集約していくのか、これが基本的な考え方になるのではないかと理解していたが、そうではないということか。

（教育部長）

検討している基本計画というのは、学校の適正規模というのが当然土台になります。再編にあたって重要視すべきことは学校規模であります。通学距離を満たさなくなったときには、スクールバスを出すとか、施設整備についても考えていかなければいけないことだと思いますので、そういったものを盛り込んだ形で基本計画を定めていきたいと考えております。

一般質問（平成28年12月議会）

第4回 定例会

質問事項及び答弁の概略

質問議員 杉浦 康一 議員

質 問 事 項 等

【再質問⑤】

○空き教室の活用について

※小学校の空き教室を利用した学童クラブの開設状況はどうか。また、今後の開設見通しはどうか伺う。

（教育部長）

現在、学校施設を活用して学童クラブを開設している小学校は2校でございます。

また、以前は教室を使って開設をしておりましたが、耐震化に伴う改修工事の関係で新たに施設をつくるなど、小学校の敷地内に設置された施設で学童クラブを開設している小学校が3校ございます。

今後、学童クラブとして使用できる教室等につきましては、現在開設している小学校の施設設備の状況等を参考にしながら、また関係部署との連携を図りながら、その可能性について検討してまいりたいと考えております。

一般質問（平成29年3月議会）

第1回 定例会

質問事項及び答弁の概略

質問議員 金坂 道人 議員

質 問 事 項 等

◎教育施設について

○今後の施設改修について

※平成27年度で学校の耐震化工事が完了したが、老朽化している学校施設の改修を今後どのように進めていくのか伺う。

（教育長）

学校施設の老朽化対策につきましては、大規模改修計画に基づき計画的に進めているところですが、今後の改修につきましては、緊急性等を考慮するとともに、現在、策定中の学校再編計画との整合を図りながら、計画的に取り組んでまいりたいと考えております。

【再質問④】

※現在策定中の学校再編計画との整合性を図り、計画的に取り組んでいくとのことだが、再編が進み、廃校となる学校施設利用についてどのように考えているのか伺う。

（教育部長）

廃校となります学校の施設及び跡地の利用に関しましては、全庁的に協議検討してまいりたいと考えております。

一般質問（平成29年3月議会）

第1回 定例会

質問事項及び答弁の概略

質問議員 前田 正志 議員

質 問 事 項 等

◎教育・子育て

○学校再編と放課後の過ごし方

※学校再編の進捗について伺う。

（教育長）

昨年10月に設置した「茂原市学校再編計画審議会」において審議していただき、現在までに4回の審議会を開催いたしました。

先月まで「茂原市学校再編基本計画（案）」についてのパブリックコメントを実施したところであり、本年度中に基本計画を策定する予定となっております。

※学区が広がる場合に、部活・学童保育などの児童生徒の放課後の過ごし方についてどのような検討がされているのか伺う。

（教育長）

現在策定中の基本計画は、再編に関する基本的な考え方を示すものであり、部活動や学童保育などにつきましては、今後担当課と協議してまいります。

一般質問（平成29年3月議会）

第1回 定例会

質問事項及び答弁の概略

質問議員 飯尾 暁 議員

質 問 事 項 等

◎教育問題について

○学校再編に関する基本的な考えについて

※「適正規模」、「小規模校のメリット・デメリット」などについて文部科学省手引き以外の文献や事例など、どの程度範囲を広げて検討してきた事例があれば伺う。

（教育長）

茂原市学校再編計画審議会においては、基本的には文部科学省が策定した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を参考に、県内他市町村の事例も把握しながら審議していただいております。

文部科学省の手引では、地域の実情に応じて設置者が主体的に検討することが求められていることから、審議会で自治会やPTAなど様々な立場から意見をいただいているほか、アンケートにより小中学生の保護者が実際にどう考えているのか把握に努めたところではあります。

今後も、子どもの教育環境を第一に考えながら、学校再編を進めてまいりたいと考えております。

【再質問①】

※外国の小学校は100人から200人程度でクラス替えが無いのが一般的である。日本は300人を超えている。無理な統廃合で学校規模が拡大して学校の荒廃が広がったという反省から今では小さな学校の意義が見直されている。こういう事実は周知されているのか伺う。

（教育部長）

学校規模につきましては、それぞれの国や地域の実情に応じて考慮されるべきものと考えております。

従いまして、特に周知は行っておりません。

一般質問（平成29年3月議会）

第1回 定例会

質問事項及び答弁の概略

質問議員 飯尾 暁 議員

質 問 事 項 等

【再質問②】

※「適正規模」の論拠は40年以上も前に崩れているが、なぜここでまた強調されなければならないのか伺う。

（教育部長）

文部科学省では、昭和32年に「学校統合の手引き」が作成され、翌年33年に適正規模の標準が定められております。

その後、少子化が進み、小中学校が過度に小規模化し、教育条件に影響が出ることが懸念されたことや、地域コミュニティの衰退、三世帯同居の減少、共働き世代の増加、世帯当たりの子供の減少といった様々な背景の中で、家庭や地域における子供の社会性育成機能が弱まり、学校が小規模であることに伴う課題がかつてよりも一層顕在化しているとの指摘もございました。

また、交通機関の発達等により、生活圏が拡大している状況変化もございました。

これらの状況の中で少子化に対応した学校規模の適正化は全国的な課題であるとし、文部科学省では市町村の主体的な検討の参考資料とするため、中央教育審議会等での協議を踏まえ、平成27年1月に「適正規模・適正配置に関する手引き」を作成したものであると理解をしております。

【再質問③】

※統廃合の主な理由として「切磋琢磨する機会が少なくなりやすい」とあるが、「切磋琢磨」とはどういう概念か伺う。

（教育部長）

一般的には、「友人同士が互いに励まし合い競争し合って、共に向上すること」と捉えております。

小中学校におきましては、「児童生徒が色々な考え方に触れることにより、互いに学び合い成長していく」ということだと考えております。

【再質問④】

※「人間関係が固定化される」ことにどのような弊害があるのか伺う。

（教育部長）

人間関係が固定化されることは、相互の評価等が固定化しやすいということや、多様な考え方に触れたり、学びあう機会が少なくなることなどの弊害があると考えております。

質 問 事 項 等

【再質問⑤】

※できるだけ小さな集団・人間関係の中にいることが大切なのではないかと考えるが、これについて見解を伺う。

（教育部長）

「児童生徒が集団の中で、多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じ、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていく」という教育の特質を踏まえ、小中学校では、一定の集団規模が確保されていることが望ましいと考えております。

【再質問⑦】

※統廃合の実施についての検討はどういう過程で行われるのか伺う。

（教育部長）

基本計画（案）のパブリックコメントが先日終わったばかりでございますので、まだ確定はしておりませんが、まず基本計画の中で「速やかに統廃合する」または「児童数の増加が見込めなければ、速やかに統廃合する」となった対象校につきまして、今後の推計も踏まえまして、それぞれ統廃合する、あるいは、しないという方向性や理由を定めてまいりたいと考えております。

その後、早急に再編を行うべき学校を決定し、使用校舎や配慮すべき点などをまとめたいと、再編時期を定めてまいりたいと考えております。

【再質問⑧】

※「地域住民の理解」とあるが、これが満たされない場合はどうなるのか伺う。

（教育部長）

地域住民の方とは、子どもたちにとって望ましい形は何かという点を第一に、建設的に誠意をもって話し合ってもらいたいと考えております。

なお、地域住民の理解につきましては、説明会等で100%同意をいただくことは現実的には大変難しいと考えておりますが、最終的には保護者アンケートや市民の方の意見なども踏まえまして、総合的に判断してまいりたいと考えております。

一般質問（平成29年3月議会）

第1回 定例会

質問事項及び答弁の概略

質問議員 飯尾 暁 議員

質 問 事 項 等

【再質問⑨】

※残すべき条件がある学校があるとすれば、その場合の条件はどういうものか伺う。

（教育部長）

審議会への諮問事項となりますので、詳しくは審議会の中で個別に検討していただきたいと考えておりますが、事務局といたしますと、多くの市民の方に納得していただけるような条件というのは、なかなか無いのではないかと考えております。

一般質問（平成29年3月議会）

第1回 定例会

質問事項及び答弁の概略

質問議員 三橋 弘明 議員

質 問 事 項 等

【再質問】

◎活力ある茂原のまちづくりについて

○本納のまちづくりについて

※本納地区の小中学校の再編計画について伺う。

（教育部長）

本年度策定しております学校再編基本計画につきましては、市全体の基本的な方向性を定めるものでございます。どの学校とどの学校をいつ統廃合する、あるいは廃止するといった具体的な内容は、来年度策定をする実施計画の中で定めてまいる予定となっております。

質問事項及び答弁の概略

1. 質問議員 杉浦 康一 議員

質 問 事 項 等

◎教育行政と子育て支援について

○学校再編について

【質問】 今後の学校再編に向けたスケジュールについて、特に実施計画はいつ頃までに策定されるのか伺う。

（教育長）

5月に自治会関係者や保護者などで構成する「茂原市学校再編審議会」を設置し、「小中学校の再編に関する具体的な方策について」諮問いたしました。

現在、実施計画の策定に向けた審議が行われており、また、今後は住民との意見交換を行ってまいります。

実施計画の策定期間につきましては、審議会からの答申を受け、庁内での協議や教育委員会会議を経て、9月を目標に策定してまいります。

【再質問①】 実施計画を第1次、第2次と分けて策定する理由は何か。また、その基準は何か伺う。

（教育部長）

茂原市総合計画や、茂原市公共施設等総合管理計画の期間の整合性を考慮し、第1次実施計画を4年間、第2次実施計画を5年間と決めました。

第1次と第2次の実施計画期間内で、どこを対象に再編を実施するかにつきましては、基本計画で定めた学校規模ごとの基本的な方向性をもとに、再編すべき優先順位などを考慮し、今後の審議会での審議を踏まえ定めてまいります。

【再質問②】 基本的な方向性で「今後児童数の増加が見込めなければ、速やかに統廃合する」又は「今後児童数が減少し単学級となる見込であれば統廃合を行う」とあるが、この増加又は減少の見込みというのは、今後改めて児童生徒数を推計したうえで判断するのか伺う。

（教育部長）

第1次と第2次の実施計画においては、基本計画の中で示した児童生徒数の推計により統廃合を判断いたします。

ただし、第1次実施計画終了前に、人口や児童生徒数の推計見直しを行いまして、必要に応じて第2次実施計画での対象校の見直しを行ってまいります。

1. 質問議員 杉浦 康一 議員

質 問 事 項 等

【再質問③】統廃合を実施するために、校舎の増築などの再整備が必要になると思うが、9年間という計画期間中にすべての再整備ができるのか伺う。

（教育部長）

統合後の学校につきましては、利用可能な教室数も勘案し、原則として既存の校舎を利用するものと考えております。

一方、多くの学校で建物の老朽化が進んでおりますので、将来を見据えた計画的な施設改修を実施してまいります。

【再質問④】統合により廃校となった学校施設は、今後どのように利活用していくのか伺う。

（総務部長）

学校の統廃合による施設の跡地の利活用につきましては、公共施設等総合管理計画の推進に関する庁内委員会におきまして、その時々々の行政需要を見極め、幅広い観点から最も有効な活用方法について、検討してまいります。

《要望等》

- ・統廃合については、やはり子どもたちの教育環境をどう充実させていくかということを中心として、スピード感をもって実施していただきたい。さもないと、在校生が全員卒業してしまう。
- ・保育環境の改善のために学校施設の活用について、茂原市子ども・子育て審議会で検討することだが、教育委員会とも連携して、速やかに施設の充実に向けて動いていただきたい。
- ・市民会館の建て替えが動き出した今だからこそ、駅前を含む本市の中心市街地を活性化するために大街区化の検討を大至急行い、事業の早期完成と中心市街地の活性化のための大胆な施策の展開を要望する。

一般質問（平成29年6月議会）

第2回 定例会

質問事項及び答弁の概略

2. 質問議員 向後 研二 議員

質 問 事 項 等

○学校施設の統廃合について

【質問】西陵中学校と富士見中学校の統合後の利活用についての考えを伺う。

（総務部長）

西陵中学校の施設の利活用につきましては、建物の状況や立地条件など考慮しつつ、公共施設等総合管理計画の推進に関する庁内委員会におきまして、幅広い観点から有効な活用方法を検討してまいります。

【再質問①】現段階では、学校の統合による施設の利活用について、庁内検討委員会においても協議が進められていないということで理解してよろしいか伺う。

（総務部長）

学校施設の再編を受けて、既に跡地の利活用を実施している他の自治体の活用事例など、庁内委員会において情報の共有はなされておりますが、具体的な方策につきましてはこれからということになっております。

【再質問②】自治体の活用事例について、どのような事例があるのか伺う。

（総務部長）

他の自治体では、企業の物流拠点としてのオフィス、多世代交流施設、スポーツ施設の合宿所、道の駅などの活用事例があることを承知しております。

【再質問③】庁内委員会と同時に、自治会や市民によるワークショップ等を実施し、市民意見を取り入れて進めていくのか伺う。

（総務部長）

統廃合後の学校の施設の利活用につきましては、出来る限り、市民の皆様の意見を聴取できるような手法で実施してまいりたいと考えておりますが、具体的な方法につきましては、今後検討してまいります。

3. 質問議員 平 ゆき子 議員

質 問 事 項 等

◎教育行政について

○学校再編について

【質問】学校再編基本計画にある保護者や子どもたち、地域住民の意見をどのように反映させて行くのか伺う。

（教育長）

実施計画の策定にあたっては、新たに設置した「茂原市学校再編審議会」において、自治会やPTAなど様々な立場の方に審議していただくほか、住民との意見交換を行ってまいります。

今後子どもたちの教育環境を第一に考えながら、実施計画の策定を進めてまいりたいと考えております。

【質問】実施計画策定に向けてのスケジュールでは住民との意見交換会が行われる予定となっているが、その内容について伺う。

（教育長）

現在のところ、再編の対象となる地区において、就学前児童の保護者、小中学生の保護者、地域住民を対象として複数回行うことを考えております。

審議会でも話し合われた内容について、保護者や地域の方々のご意見を伺ってまいります。

【再質問①】基本計画の説明会では、適正規模の根拠の1つとしているクラス替えの重要性について、本当に必要なのかなど疑問の声があがっていたが、こうした意見についてあらためて見解を伺う。

（教育部長）

クラス替えができない場合に、人間関係の固定化が懸念されることや、内容に応じた多様な学習形態を取りにくいことなどから、一定の集団規模が確保されていることが望ましいと考えております。

一般質問（平成29年6月議会）

第2回 定例会

質問事項及び答弁の概略

3. 質問議員 平 ゆき子 議員

質 問 事 項 等

【再質問②】 学校再編に関する情報について、若い保護者世代に対しどのように周知を行うのか伺う。

（教育部長）

現在は、幼稚園、保育所、小中学校を通して文書を配布しておりますが、学校再編は子育て世代の保護者にとって、とても重要であると認識しておりますので、今後も効果的な周知方法を検討してまいります。

【再質問③】 住民説明会などで、再編にあたって「小中一貫」の特色ある学校づくりの意見があったが、教育委員会は「小中一貫」に対して現段階でどのように考えているのか伺う。

（教育部長）

「小中一貫」につきましては、先進事例を参考に今後調査研究してまいります。

【再質問④】 廃校の跡地利用は、近隣の長南町でも全国でも問題になっている。廃校後の跡地利用に民間活用が優先または視野に入っているように伺えるが、学校は避難所や地域コミュニティの核となっている。地域住民の方々の思いとは違うのではないかとと思われるが、その見解を伺う。

（総務部長）

既に他の自治体で、民間活用を図っている事例については承知しております。

今後、本市で検討するにあたりましては、その時々々の行政需要を見極めるとともに、地域の方々の声もお聞きし、幅広い観点から活用方法を検討してまいります。

4. 質問議員 小久保 ともこ 議員

質 問 事 項 等

◎教育環境について

○学校再編について

【質問】教育委員会として学校再編についての最終結論を決定する時期について伺う。

（教育長）

現在、「茂原市学校再編審議会」において、実施計画の策定に向けた審議が行われておりますが、審議会からの答申を受け、庁内での協議や教育委員会会議を経て、9月を目標に策定してまいります。

【再質問①】議論を深めるという意味においても、あと3か月で答申できるのか懸念されるが、この点に関する見通しを伺う。

（教育部長）

今後の審議会の進捗状況や住民意見交換会の状況にもよりますが、9月の実施計画策定に向けて答申をいただけるものと考えております。

【再質問②】これまで2回行われた説明会における意見の主な項目について伺う。

（教育部長）

2回の住民説明会での意見といたしましては、通学の安全性の確保、地域コミュニティや避難所に関すること、情報の発信など、非常に多岐にわたっております。

また、いはる工業団地や本納ニュータウンによる人口の増加が見込まれるので統廃合の時期について十分な検討をお願いしたいという意見や、またその一方で、その計画による人口増を見極めるまで統廃合を待つのかなどの意見がございました。

【再質問③】説明会においてもそれぞれの立場によって意見が異なるが、これらの意見を教育委員会としてどのように合意形成されるのか伺う。

（教育部長）

教育委員会といたしましては、子どもたちの教育環境を最優先に考えておりますので、保護者や地域住民に対して丁寧に説明してまいります。

【再質問④】学校再編と同時に通学区域の見直しも検討する必要があるのではないかと
思うが、見解を伺う。

（教育部長）

学校再編審議会では、通学区域の見直しも行うことになっておりますので、学校再編を進めていく中で検討してまいります。

一般質問（平成29年6月議会）

第2回 定例会

質問事項及び答弁の概略

4. 質問議員 小久保 ともこ 議員

質 問 事 項 等

【再質問⑤】義務教育学校の制度を本市の小中学校に導入していくことに関する見解を伺う。

（教育部長）

本市の「小中一貫教育」は、各学校の教育課程の特色を生かしつつ、小学校と中学校が児童生徒の交流や教職員の交流、情報交換・共有を行う「小中連携」を推進しておりますので、「義務教育学校」の導入については、現在のところ考えておりません。

【再質問⑥】義務教育学校については、検討委員会等を立ち上げて先進地の検証を行うなどの検討が必要であると考えますが、見解を伺う。

（教育部長）

義務教育学校の導入や検討委員会の立ち上げについては、現在は考えておりませんが、本市が進めております「小中一貫教育」について、さらに研究を進めてまいります。

一般質問（平成29年6月議会）

第2回 定例会

質問事項及び答弁の概略

6. 質問議員 前田 正志 議員

質 問 事 項 等

◎子育て・教育

○小中学校再編と放課後の過ごし方

【質問】小中学校の再編の進捗状況について伺う。

（教育長）

学校再編につきましては、本年3月に「茂原市学校再編基本計画」を策定し、5月14日と28日に住民説明会を実施いたしました。

また、自治会関係者や保護者などで構成する新たな「茂原市学校再編審議会」を設置し、「小中学校の再編に関する具体的な方策について」諮問いたしました。現在は、実施計画の策定に向けて審議が行われているところでございます。

【再質問①】実施計画の策定に向けたスケジュールを伺う。

（教育部長）

実施計画策定のスケジュールにつきましては、住民との意見交換を行い、審議会からの答申を受けて、9月を目標に策定してまいります。

【質問】学区が広がる場合の児童生徒の放課後の過ごし方（部活・学童保育など）についての検討状況を伺う。

（教育長）

本年3月に策定した基本計画は、再編に関する基本的な考え方を示したものであり、また、実施計画は、学校再編の具体的な方策を示すものであることから、部活動や学童保育などにつきましては、今後、関係各課と協議してまいります。

【再質問①】今後の協議の具体的なスケジュールについて伺う。

（教育部長）

関係各課との協議について、具体的なスケジュールは決定しておりません。

【再質問②】学校再編審議会では検討されないのか伺う。

（教育部長）

部活動や学童保育については、学校再編審議会では検討する予定はございません。

一般質問（平成29年6月議会）

第2回 定例会

質問事項及び答弁の概略

6. 質問議員 前田 正志 議員

質 問 事 項 等

【再質問③】関係各課（担当課）について、具体的な部署を伺う。

（教育部長）

担当課につきましては、教育委員会内の学校教育課や生涯学習課、福祉部の子育て支援課、また登下校時の交通手段や道路整備という面から、都市建設部の都市計画課や土木建設課等とも協議が必要だと考えております。

6. 質問議員 前田 正志 議員

質 問 事 項 等

○統廃合後の学校の利活用について

【質問】西陵中学校の統合後の施設の利活用の検討方法について伺う。

（総務部長）

学校の統廃合による施設の跡地の利活用につきましては、公共施設等総合管理計画の推進に関する庁内委員会において、その時々々の行政需要を見極め、市民の方々のご意見も伺いながら幅広い観点から最も有効な活用方法について、検討してまいります。

【再質問①】庁内委員会の構成について伺う。

（総務部長）

庁内委員会につきましては、副市長を委員長に、教育長、各部長及び、議会事務局長により構成されております。

【再質問②】今後の検討スケジュールについて伺う。

（総務部長）

検討のスケジュールにつきましては、今後の学校再編実施計画なども考慮し、柔軟に対応できるよう、随時、庁内委員会を開催してまいりたいと考えております。

【再質問③】庁内だけではなく、外部（地元住民など）の意見も取り入れていく必要があるかと思うが、その取扱いについて伺う。

（総務部長）

活用方法を決定するにあたりましては、住民説明会やパブリックコメントを実施するなど、意見を広く取り入れてまいりたいと考えております。

《要望等》

- ・長南町、市原市など、この周辺でも学校の再編が進んでおり、学区が広がってスクールバスで登下校している風景をよく見かける。保護者の心配事の中には、特に下校時の安全管理の要望があるようなので、しっかりとした対応をお願いしたい。
- ・施設の跡地の利活用（西陵中学校）について、例えば教室の一区画毎にお手頃な価格でアトリエとして使えるように芸術関係で貸したり、いろいろと産業振興の面でも拠点になると思うので検討をお願いする。